

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

今年度、4月18日に行われた「全国学力・学習状況調査」では、全国の小学6年生を対象に「国語」「算数」の学習状況と児童の学校や家庭での生活実態についての調査が行われました。

今回の調査結果は、別府西っ子の学力の限られた一部分ではありますが、届いた結果を基に現状を分析してまとめましたので、その概要を保護者の皆さまにお知らせいたします。

＜学校生活・家庭学習に関して＞ ※児童質問用紙の回答結果から

【指導の成果が現れている点】

○周りの人とコミュニケーションをとりながら良い人間関係を築くこと

多くの児童が「先生は自分の良いところを認めてくれる」「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」「人が困っているときは、進んで助けている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「学校に行くのは楽しい」「友達関係に満足している」と回答していました。学校において、友達や教師と良い人間関係を築けていることが分かります。

○学校での学習の大切さに気付くこと

「国語の勉強は大切だと思う」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」「算数の授業は大切だと思う」「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」「英語の勉強は大切だと思う」と回答した児童が多くいました。学習の大切さに気付いていることがうかがえます。

【指導の工夫が必要だと考えられる点】

○規則正しい生活について

「平日（月～金）にどれくらいゲームをしているか」という問いに対して、28.7%の児童が4時間以上と回答、「平日（月～金）にどれくらい携帯電話でSNSや動画視聴しているか」という問いには13.8%が4時間以上と回答しました。42.5%の児童が平日に4時間以上ゲームやSNS、動画視聴等に時間をかけているようです。これは、睡眠時間や学習時間確保のためにも良い習慣とは言えません。ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。

＜国語・算数に関して＞

【指導の成果が現れている点】

（国語）筆者が文章作成前に書いたメモの表し方を説明したものとして、適切なものを選択すること

文章を書くために用意した【メモ】について、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解することができています。授業の中でプレゼン資料を作ったり文章を書いたりする際、まずはメモを書いて内容を大まかに考えるという学習の成果が表れています。

（算数）直方体の見取り図をかくこと

作成中の直方体の見取り図について、次にかく辺として正しいものを選ぶ正答率が高くなっていました。見取り図の特徴やかき方について基本的な知識が身に付いています。

【指導の工夫が必要だと考えられる点】

（国語）オンラインで交流する場面を読み、話し方の工夫に気付くこと

自分の考えを伝える際、話すことに加えて資料を見せることにより、相手に伝わりやすくなるということを、資料がある場合とない場合を実際に体験させ、実感できるよう指導に取り組んでまいります。

（算数）道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を記述すること

速さを比べる際、道のりが同じであれば、かかった時間が短いほど速いといえることを速さ、道のり、時間の関係について公式を用いて復習し、理解できるよう指導に取り組んでまいります。